クレデリオ® キャット錠 (ロチラネル)

2026年5月作成

貯法	室温保存
動物用医薬品	**猫用ノミ・マダニ駆除剤**





クレデリオ キャット錠は**食事と一緒**又は**食後30分以内**に与えてください。

クレデリオ キャット錠は嗜好性の高いバニラフレーバータイプの錠剤で、1回の投与で1ヵ月間、猫に寄生したノミ及びマダニの駆除効果が持続します。

【成分及び分量】

本品は1錠中に以下の分量のロチラネルを含有する。

	ロチラネル含量
クレデリオ キャット錠12mg	12mg
クレデリオ キャット錠48mg	48mg

【効能又は効果】

猫：ノミ及びマダニの駆除

【用法及び用量】

体重1kgあたりロチラネル6mgを基準量とし、下表に従い、食餌と同時又は食後30分以内に経口投与する。

	体重	投与量（個）
クレデリオ キャット錠12mg	0.9kg以上2.0kg以下	1
クレデリオ キャット錠48mg	2.0kgを超え8.0kg以下	1
8.0kgを超える猫：上記の錠剤を適切に組み合わせる		

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと
(一般的注意)
・ 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
・ 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
・ 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)
・ 小児の手の届かないところに保管すること。
・ 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
・ 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること
(使用者に対する注意)
・ 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
・ 使用後は手を洗うこと。

(猫に関する注意)
・ 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（専門的事項）

① 対象動物の使用制限
・ 本剤は8週齢未満又は0.9kg未満の子猫には投与しないこと。
・ 繁殖期、妊娠中又は授乳中の猫に対する本剤の安全性は確認されていない。ラットの実験室内試験では、雌雄の生殖能力への悪影響の所見はみられなかった。
・ 本剤の有効成分に過敏症の猫には使用しないこと。

② 重要な基本的注意
・ 本剤投与の30分以内に嘔吐して本剤を完全に排出した場合は、本剤を再投与すること。
・ イソオキサゾリン系薬剤の投与後、けいれん、運動失調及び振戦を含む神経症状が認められることがある。
・ イソオキサゾリン系薬剤投与時の注意として、てんかん発作の病歴のある猫に投与する場合は、投与の是非を慎重に判断すること。

③ 副作用
・ 諸外国における臨床試験及び市販後調査において、嘔吐、元気消失、食欲不振等が報告されている。

④ その他の注意
・ 本剤は、ノミ及びマダニに対し1ヵ月間駆除効果が持続することが確認されているので、継続投与が必要な場合は、これらの寄生虫の駆除効果が持続する期間を考慮して行うこと。
・ 実験室内試験で、本剤は既に寄生したノミに対し投与8時間後に98%、投与12時間後に99%の駆除効果を示した。また、投与後35日間、新たに寄生したノミに対し寄生8時間後に96%以上、12時間後に99%以上の駆除効果を示した。
・ 米国で、本剤を月1回、3回投与する臨床試験が行われたが、試験30、60、90日（各投与1ヵ月後の次回投与前）のノミ駆除効果（試験開始時のノミ寄生数との比較）は98.5%、100%、100%であった。また、ノミアレルギー性皮膚炎の徴候のある猫では、ノミ駆除の直接の結果として、紅斑、丘疹、鱗屑、脱毛、皮膚炎/膿皮症、掻痒の有意な改善を認めた。
・ 実験室内試験で、本剤はノミの産卵前にノミを効果的に駆除し、既に寄生したノミに対し投与24時間後に産卵を97%抑制し、投与後30日間以上、新たに寄生したノミに対し寄生12時間以後の産卵を99%以上抑制した。
・ 実験室内試験で、本剤は既に寄生したマダニに対し投与12時間後に98%、24時間後に100%の駆除効果を示した。また、投与後35日間、新たに寄生したマダニに対し、寄生24時間後に99%以上の駆除効果を示した。
・ 本剤は、猫に寄生したノミ及びマダニを駆除する動物用医薬品であり、これらの寄生虫が媒介する疾病の伝播を阻止できるかについての検討は行っていない。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

ロチラネルは、動物用医薬品においてノミ及びマダニの駆除剤として使用されているイソオキサゾリン系に分類される。作用機序は神経伝達物質であるγ-アミノ酪酸（GABA）のGABA-Cl受容体に特異的に結合して、塩素イオンのチャネルの流れを阻止することで塩素イオンの細胞膜伝達を阻害することにより、昆虫の中枢神経系の制御を不能にするという作用機序を有する。また、ロチラネルは昆虫のGABA受容体に作用するが、哺乳類のGABA受容体にはほとんど作用しないという高い選択毒性をもつ。このことから、哺乳類に対しては大きな作用を有せず、殺虫効果を示す。

(安全性)

1. ネコにおける安全性試験

対象動物である猫に対する安全性試験として、8週齢の猫16頭に対し8ヵ月間にわたり、1ヵ月に1回の反復経口投与における評価を実施した。臨床適用最大量（24mg/kg）の、1、3及び5倍量を投与したが、投与に関連する有害作用は認められず忍容性は良好であった。

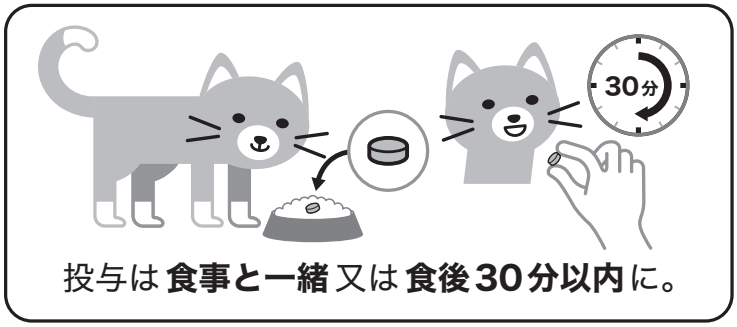
2. 臨床試験

ネコのノミ寄生及びノミアレルギー性皮膚炎に対する臨床試験

本剤を単回投与した海外臨床試験において、217頭中15頭に有害事象がみられた。陽性対照群と比較して有害事象の発生率に差はなかった。
また、本剤を月1回、合計3回投与した海外臨床試験において、228頭中60頭に有害事象がみられた。主に皮膚炎とその関連症状、食欲不振、下痢、嘔吐等であったが、陽性対照群と比較して有害事象の発生率に差はなかった。

ネコのマダニ寄生に対する臨床試験

本剤を月1回、合計3回投与した海外臨床試験において、211頭中3頭に有害事象がみられたが、いずれも本剤投与との関連性は低いと判断され、陽性対照群と比較して有害事象の発生率に差はなかった。



【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社　製品お問い合わせ窓口
〒107-0052　東京都港区赤坂四丁目15番1号
TEL：0120-162-419
月～金／9時～12時、13時～17時
（祝祭日及び弊社休業日を除く）

製造販売業者（輸入販売元）
エランコジャパン株式会社
〒107-0052　東京都港区赤坂四丁目15番1号

クレデリオ、Elanco及び [redacted]：エランコ又はその関連会社の商標です。

© 2026 Elanco or its affiliates

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所
(http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html)
にも報告をお願いします。